

挨拶

会長
吉野 浩 行



皆様こんにちは。ただいまご紹介いただきました吉野でございます。今年度、この日本知的財産協会の会長を拝命いたしました。本日は、ご来賓の方々にもご出席いただきましてまことにありがとうございます。

実は、つい先程までエンジン関連の協会の総会に出席していましたが、知的財産の話が沢山出ていました。皆さんご承知のように、今、「知財」というのはキーワードといえますか、日本のどこへ行っても口に上ってくる言葉でありまして、言うなれば、この世界は、時代の先端を行く分野であるというふうに申し上げてもいいかと思えます。ビジネスがグローバル化した結果、例えば中国やアジアで模倣品等がどんどん出てくる。それから、昨年には職務発明が大変話題になりました。また、大学が法人化されて、アカデミーの世界の成果をもっと世のために使おうということになると、知的財産をきちんと確立して、正しい運営をしなければいけないという機運が大変盛り上がっています。したがって、今、流行の分野と言えるのではないかと思います。ここにいらっしゃる方々、三浦前会長をはじめとして、知財に関わってきた人たちの活動がだんだん力を得てきて、まだ報いられつつあるとは言えないかもしれませんが、皆様の今までのご努力に、光が当たり始めているということだと思えます。

私は技術屋で、本田の研究所に入りましたから、当然、自分自身が開発者であり、場合によっては発明者でもあるということで知財との関係がスタートいたしました。その後、研究所で技術開発の責任者をしていましたが、設計や試験等から出てくる知財をいかにうまく組織的に財産化していくかというときに、例えば、当時の特許課のメンバーを現場に入れて、そういうものを組織的に作り上げていくというようなマネジメントに参加しました。本田技研の副社長の時代には、やはり知財担当でしたので、知財の部門から定期的な報告を受けていましたが、グローバル化していくに従って、それが経営母体にどんどんなっていくというようなことにかかわってまいりました。

さらに、最近では、国が知的財産戦略に本格的に取り組むという機運の中で、私は、総合科学技術会議という国の科学技術政策の司令塔になっている部門に出席させてもらっていますが、その中でも、知的財産というのが非常に話題になっていますし、経団連でも、知的財産というのは非常に大事なマターであるということで、かなり頻りに議論になっております。そういう意味でも、この問題にかかわってきたということでもあります。したがって、多少はこの世界に首を突っ込んできましたが、皆様ほど専門的にやってきたわけではございませんので、多分、この職を遂行していく上で、皆様から沢山教えていただくことがあるのではないかと期待をしております。

※本文の複製、転載、改変、再配布を禁止します。

現在、わが国における知的財産関連の課題として、途上国とのせめぎ合いのようなものがありますが、これは永遠の課題かもしれません。ハーモナイゼーション、あるいは世界特許といいますか、そういう分野が課題として残っているのだろろうと思います。知的財産の生産面での活動が活発になるにしたがって、それをハンドリングしていくことが、パワー的にも、経済的にも大変大きな負担になってきています。経済性や効率といった点からも非常に大事なことなので、それを少し追いかけてみたいとは思っています。しかしもう一面、日本だけがパワーを背景にして強引に行うだけではだめなのではないかという気もしております。皆様が日常行われている知財活動が、日本のイメージをどんどん形成していくのではないかと思うのです。日本の知財活動が、海外から信頼と尊敬を得て、一目置かれるぐらいの状況になっていかないと、世界の中で日本がイニシアティブを取る、あるいは影響力を発揮していくことは難しいのではないかと思いますから、そういうことがきちんと行われていくことが一番大事なことではないかと思っております。その意味で、皆さんの日常の活動の質の向上を大いに期待したいと思っております。

本年度は、たまたま私と理事長が同一の企業に属しておりますが、理事長の方針が、知財活動と経営とをもっと結びつけるような方向の活動の推進と聞いております。それには私も基本的に大賛成でありまして、貢献ができればと思っております。特許の権利、係争等のほかに、経営に戦略的に知財が絡んでくるということが、これからのビジネスではより表出してくるのではないかと思います。任期は2年ということで、その間に何ができるかというのは、まだあまり見えていないのですけれども、大変成長している組織だと聞いております。ぜひとも、成長力とそれを補う経済力と併せもって、さらに伸びていくような協会にしたい。それによって会員企業の皆様方がますます発展していくようにしたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願いいたしまして、私の挨拶とさせていただきます。